

# 未来へつながる地域づくり

那須烏山市  
NPO法人クロスアクション 高橋 誠一 氏

21班 コミュニティデザイン学科  
建築都市デザイン学科  
社会基盤デザイン学科

木村尚哉 堀江春花  
三間智貴 三森美咲  
乙高悠奈

## 01 背景

那須烏山市の烏山地区に位置するJR烏山駅は、地域にとって必要不可欠な公共交通の中核となっているものの、駅の利用客は減少傾向にあり、存続の危機に瀕している。また、駅周辺エリアはもともと商業地域であったが、現在は後継者不足が原因で商店街が衰退し、空き店舗や空き家の増加が大きな問題となっている。

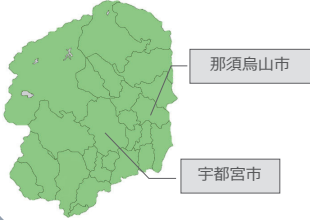


図1 那須烏山市の位置

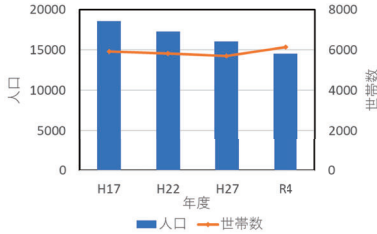


図2 烏山地区の人口と世帯数

## 02 目的

今後も駅が残りに続けられるような駅の利用者数の増加を念頭に置き、駅周辺の賑わいづくりを目指す。具体的には、駅前に日常的に市民の留まれる新たな居場所をつくることで、駅周辺を利用する人の増加に寄与する方策を提案する。

## 03 調査方法

1stcycle  
●第1回現地調査  
●ヒアリング  
●第1回アンケート

◆ 烏山駅周辺地域の現地調査や那須烏山市役所へのヒアリング、市民のニーズ調査を通じて現状や課題を把握。

2ndcycle  
●第2回現地調査  
●第2回アンケート

◆ それをもとに検討した提案を提示し、住民に意見を問う。

3rdcycle  
●活性化案決定

◆ 上記の調査を踏まえて3rdcycleで最終提案を出す。

## 05 提案

### 子育て支援型地域拠点

居場所づくり・子育て支援の充実化を通じ、駅周辺の賑わい創出を図る。

ターゲット是那須烏山市の住民。特に子育てをしたい世代。

→子育て世代は駅周辺に訪れる機会が少ないため、子育て支援の充実化と居場所の形成により駅周辺の賑わいづくりに繋げることを考えた。

#### ① 子育て支援施設

子どもを預ける施設。施設内にカフェやフリースペースを設置することで、安心して親は休憩時間を取れる。また、日用品や地域の農産物を販売するテナントを入れ、子育て世代の快適な生活をサポート。カフェやフリースペース、店舗は近隣住民も利用可能。

#### ② 住居機能

子育て世代向けの賃貸住居。子どもが自立した際は、別の新たな家を紹介し、新たな子育て世代が入居する。施設を使用する火付け役となる。

#### ③ 防災機能

避難時の食料や飲料水、生活必需品を確保するための防災倉庫を設置し、施設に防災機能を付与させる。

#### ④ 農園スペース

市民のプチ農園を設け、那須烏山の農産品などを栽培。近隣住民も共に農産物を育てる交流の場にする。育てたものは施設の店で販売。

## 04 調査結果

### ① 第1回アンケート・第2回アンケート

- ◆ 居場所的な要素が欲しい (目的とリンク)
- ◆ JR烏山線は重要・再整備すべき
- ◆ 農産物直売所が欲しい
- ◆ 子育て支援が十分ではない

### ② 駅周辺のフィールドワーク

- ◆ 空き地・空き家の存在
- ◆ 利用者の少ない駅
- ◆ 殺風景な駅前
- ◆ 利用方法の定まらないスペース

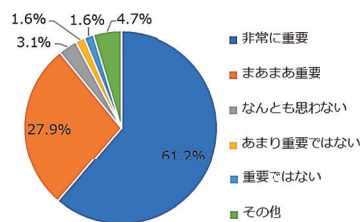


写真1 現在の烏山駅周辺の様子

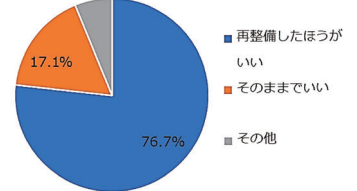
### ③ 市役所へのヒアリング

- ◆ JR烏山駅がなくなるダメージは大きい。地域住民や企業の満足度を優先し、予算をかけて、駅周辺エリアの活性化で人が住み続けられる街にしたい。
- ◆ 市の駅前再開発事業計画は白紙状態、今後の方向性の検討段階。

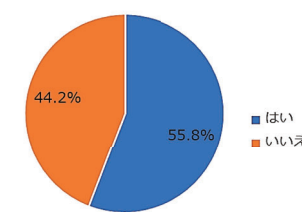
JR烏山駅の存在をどのように感じているか



JR烏山駅周辺の現状をどのようにすべきと考えるか



那須烏山市の子育て支援は充実しているか



JR烏山駅周辺にどのような機能(施設)があればいいと思うか

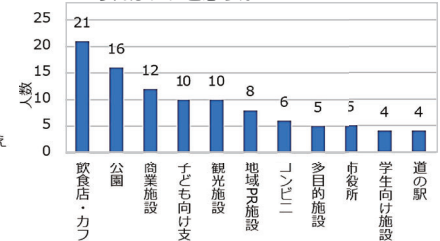


図3 アンケート結果の抜粋

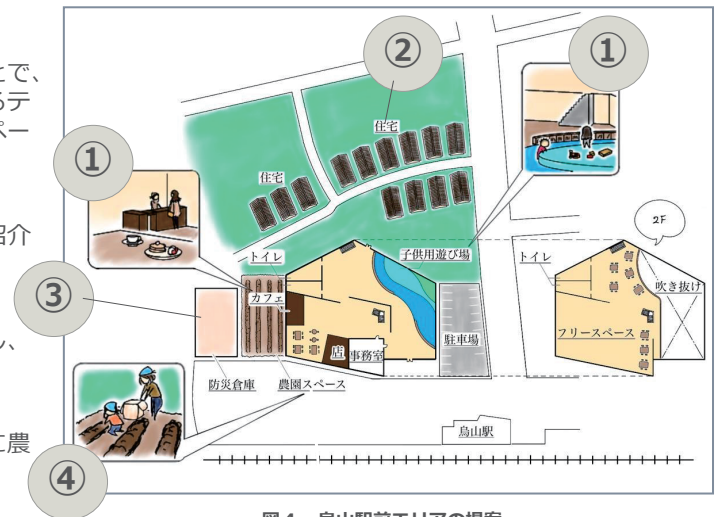


図4 烏山駅前エリアの提案